

2023年度 後期 山梨学習センターゼミ

ゼミ 予定 日	会場	講師	テーマ	ゼミ概要
			ゼミの進め方	受講生へのメッセージ及び用意するもの
第2 水曜日 10/11 11/8 12/13 1/10 2/14 3/6	会議室	(定員) 5 名 センター所長 村松 俊夫	古典的図学入門—透視図法編— 毎回内容の説明を行ったうえで、持ち手で用意したプリント上に一定規のコンパスを使って人間の視覚像に近い透視図法を描いていただきます。書画カメラで撮影する映像を見ながら、いっしょに下図していきます。空間を把握する力や立体を認識する能力が養えますよ。	ルネサンス期の画家たちは、平らな画面の上に、なんとか実在するような空間を正確に描ける方法はないものかと苦心していました。その結果たどり着いたのが「透視図法」です。現在のコンピュータ・グラフィックスの考え方の基本にもなっている「透視図法の原理」を学びます。 比較的大きめ(24cm~30cm)の三角定規セット、軸長15cm程度のコンパス、細くてしっかりした線・太くて濃い線が引ける鉛筆2種、消しゴムが必要です。 同等のものであれば、百貨ショップのものでも構いません。ご用意できない方には貸し出します。
下記の 金曜日 10/13 11/17 12/15 1/26 2/16 3/15	実習室	(定員) 5 名 客員教授 島 弘幸 (山梨大学教授)	数の世界で遊ぶ インターネットや推薦図書などから、各自で自由に話題を探してもらい、その話題をゼミの場で紹介してもらいます。算数に関する豆知識や、数学者の歴史、過去に出題された奇問難問など、話題はどんなものでもOKです。ゆっくり&自由に&楽しくやりましょう!	指を折ってモノを数える時の「数」から、最先端の科学技術で駆使される「数」まで。私たちの用いる「数」はバラエティに富んでいます。このゼミでは、そんな不思議と謎に満ちた数の話題に触れながら、お互いの知的好奇心をくすぐり合ひましょう。 推薦図書の例: ○数学の世界地図(KADOKAWA) ○解きたくなる数学(岩波書店) ○数学が好きになる数の物語100話(ニュートンプレス) ○中学数学は7日間でもやり直せる。(Gakken)
第2 木曜日 10/12 11/9 12/14 1/11 2/8 3/14	会議室	(定員) 4 名 客員教授 仲本康一郎 (山梨大学教授)	ことばの研究会 言語学の入門書や論文集があなたに読み進めていきます。また、自分の言語にはどのような興味を持ったテーマを掘り下げ、調べてきてもらい、発表してもらおうと思ひます。	言語学を背景にして、ことばについて学び合う研究会です。文法、語彙、文章・談話、レトリック、コミュニケーション、ことばと認識、ことばの発達、社会的バリエーション、言語教育、メディアと政治など、さしあたりテーマは問いません。 このゼミが、ことばに関心を持つ皆さんにとって、双方向の学びの場となることを願っています。 参考図書:『言語学入門』(斎藤純男、三省堂)
第3 火曜日 10/17 11/21 12/19 1/9 2/20 3/19	会議室	(定員) 5 名 客員准教授 菊地 淑人 (山梨大学准教授)	文化遺産の価値・魅力の伝え方 参加者の皆さんに、毎回、興味をもった文化遺産の活かし方に関する話題(事例など)を報告してもらい、それを踏まえて地域における文化遺産の魅力の「表現」「伝え方」などについてディスカッションを行います。	身近な生活空間にも様々な文化遺産(歴史的建造物、遺跡、博物館・美術館に所蔵された美術工芸品など)があります。その価値や魅力はどう伝えられているでしょうか。十分伝わっているでしょうか。事例を考えながら、くらしのなかの文化遺産の役割を考えていきましょう。 事前の予備知識は不要です。文化遺産に馴染みのある方もない方も、地域の文化を見つめ直すきっかけになることを願っています。
第4 木曜日 10/26 11/30 12/28 1/25 2/22 3/28	実習室	(定員) 5 名 客員准教授 小島 千か (山梨大学准教授)	音楽と絵画の聴き方・見方 音楽や絵画は、人それぞれで興味が異なり、聴き方や見方も異なると思います。そこで、参加者の皆さんに、好きな音楽や絵画、季節に合った音楽や絵画などを提供していただき、聴いたり見たりしてディスカッションします。	様々なジャンルの音楽や絵画を聴いたり見たりして意見交換し、聴き方・見方が広がることを目指します。 ジャンルは問いませんので、お好きな音楽や絵画を考えておいてください。
第3 水曜日 10/18 11/15 12/20 1/10 2/21 3/27	会議室	(定員) 6 名 客員准教授 田中健史朗 (山梨大学准教授)	人の「こころ」(心理)について考える 各回で取り上げるテーマを事前にそのテーマについて各自事前学習を各自で行っていただきます。ゼミでは各自の事前学習をもとに討議を行います。	人の「こころ」に関心をもち、その心理を掘り下げ、本質的な問題や課題が何であるのかについて理解することを目指します。また、支援者として支援する方法を獲得することを目指します。 取り上げるテーマについて事前学習が必要です。事前学習の仕方について第1回ゼミで説明します。
第3 木曜日 10/19 11/16 12/21 1/11 2/15 3/21	実習室	(定員) 6 名 客員准教授 鳥山 孝司 (山梨大学准教授)	エネルギーと環境について考える ゼミ前半は、現在のエネルギー事情や、実際に取り組まれていることなどについて紹介します。ゼミ後半では、互いにこのテーマに関するを持ち寄り、議論をすることで知識を深めていきたいと思います。	持続可能な開発目標(SDGs)の中に「エネルギーをみんなに、そしてクリーンに」と「気候変動に具体的な対策を」などがあります。これらについてどのようなことが行われているか、私たちに何ができるのかについて学んでいきましょう。 テーマはやや堅苦しいですが、自分たちが無理なくできるものは何かというのを考える機会になればと思います。

募集終了

募集終了

募集終了